| **一 般 質 問 （ 個 人 質 問 ） 通 告 書** | 受　付　　　月　　　日  　前  時　　　分  午  後 |
| --- | --- |
| 令和6年9月4日  笠 岡 市 議 会 議 長　殿  　　笠岡市議会議員　守屋　基範　　　㊞  次のとおり通告します。 | |

| 質　問　事　項 | 質　　　問　　　の　　　要　　　旨  （なるべく具体的に記入してください。） | 答　弁　を  求める者 |
| --- | --- | --- |
| 1.地域防災について  2.地域での耕作放棄地の解消について | 2024年1月1日の能登半島地震に続き、8月8日16時43分に日向灘で発生したマグニチュード7.1の地震に伴って、同日19時15分に「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表されました。今回の地震は南海トラフ地震の前兆とも言われ、今一度、自分事として防災を考える契機でもあります。  １．南海トラフ地震発生に伴い予想される笠岡市の被災想定についてお尋ねします。  ２．南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発令され、解除までの１週間の対応についてお尋ねします。  ３．自力避難が困難な避難行動要支援者（高齢者及び障がい者等）への対応についてお尋ねします。  ４．地域自主防災組織の組織状況と活動についてお尋ねします。  ５．地域自主防災組織の推薦により公費負担で防災士を増やしていますが、現在の防災士の数と取得後の活動の現状についてお尋ねします。  ６．笠岡市における地域防災計画の策定状況についてお尋ねします。  ７．避難行動要支援者の個別計画策定が地域主導では進まない現状を踏まえ、特に危険地域に住む避難行動要支援者へのヒヤリングを優先して行い、行政が状況を把握する必要があるように感じますが、そのような予定はあるかお尋ねします。  現在、農水省の方針に基づき令和5年4月から令和7年3月を期限に農地を次世代に引き継ぐための「地域計画」づくりが進められています。  １．干拓をはじめ、北川・新山・金浦地区が笠岡市内の主たる農業地域と考えますが、笠岡市としての地域計画の方針及び進捗状況についてお尋ねします。  ２．この計画策定により農地を次世代に引き継ぐことが大きな目標ですが、担い手が減少する中で耕作放棄地が増加し、有害鳥獣対策に苦労している現状があります。今後の笠岡市の環境保全（耕作放棄地対策）の在り方についてお尋ねします。  ３．地域の農地の保全管理については「多面的機能支払い制度」等の国の補助事業を活用している例がありますが、現在の取り組み状況をお尋ねします。  ４．「多面的機能支払い制度」の活用を推進しつつ、保全管理には地権者や農業者のみならず地域ぐるみの対応が必要と考えますが、今後の取り組みについてお尋ねします。  ５．現在農水省では農村型地域運営組織（農村RMO）を推奨し、地域で農地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取り組みを進めているが検討してはどうかお尋ねします。  ６．農村RMOについては、現在の地域のまちづくり協議会の仕組みづくりにも応用できると考えられる。国の補助事業をうけながら地域の再編成のモデルとなりうるが、導入の考えはないかお尋ねします。 | 危機管理部長  危機管理部長  危機管理部長  危機管理部長  危機管理部長  危機管理部長  危機管理部長  産業部長  産業部長  産業部長  産業部長  産業部長  産業部長 政策部長 |
|  |  |  |